

## USBドライバのインストール方法

**本書は、USBドライバのインストール方法について説明します。この画面の例は WindowsXP Pro サービスパック2 の場合です。**

弊社の製品で使用するデバイスドライバは、2008/12/05現在、FTDI社のUSBデバイスドライバのみです。この説明書は、このデバイスドライバのインストールを例に説明しています。また、製品は「非常通報装置 WhiteLock110F」が該当製品です。これ以外は新しい製品がリリースされる都度、本書の内容は追加改版されます。

デバイスドライバは、[デバイスマネージャ]から削除しても、パソコンのハードディスクからは削除されません。削除された様に見えても、再びデバイスが接続されると元の状態になります。デバイスドライバは一度インストールすれば、再度インストールする必要はありません。

デバイスドライバのインストール作業は2回に分けて行われます。同じような操作を2度行うことになりますから途中でキャンセルしないようにご注意ください。

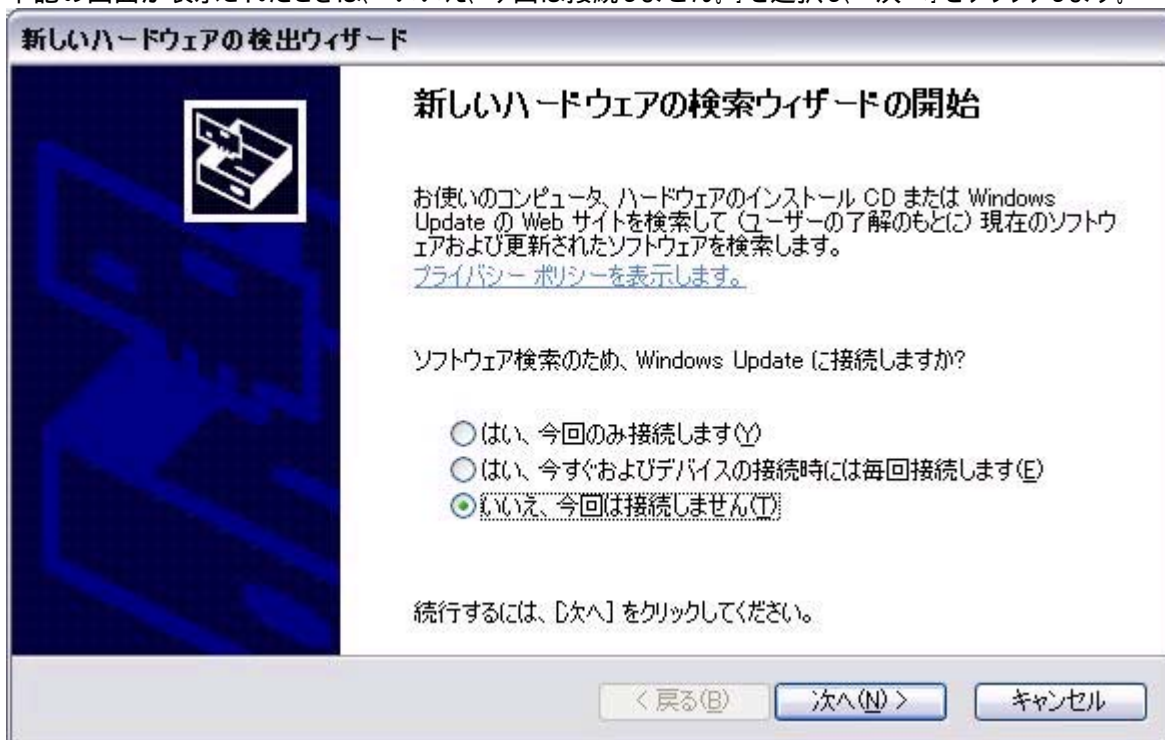
インストールの方法は2つあります。これは、デバイスを接続したときに最初に表示される画面(新しいハードウェアの検出ウィザード)に選択するインストール方法によって異なります。

**パソコンを立ち上げて、「非常通報装置 WhiteLock110F」本体と付属のUSBケーブルを準備して下さい。**

\*この作業では、ACアダプタを接続する必要はありません

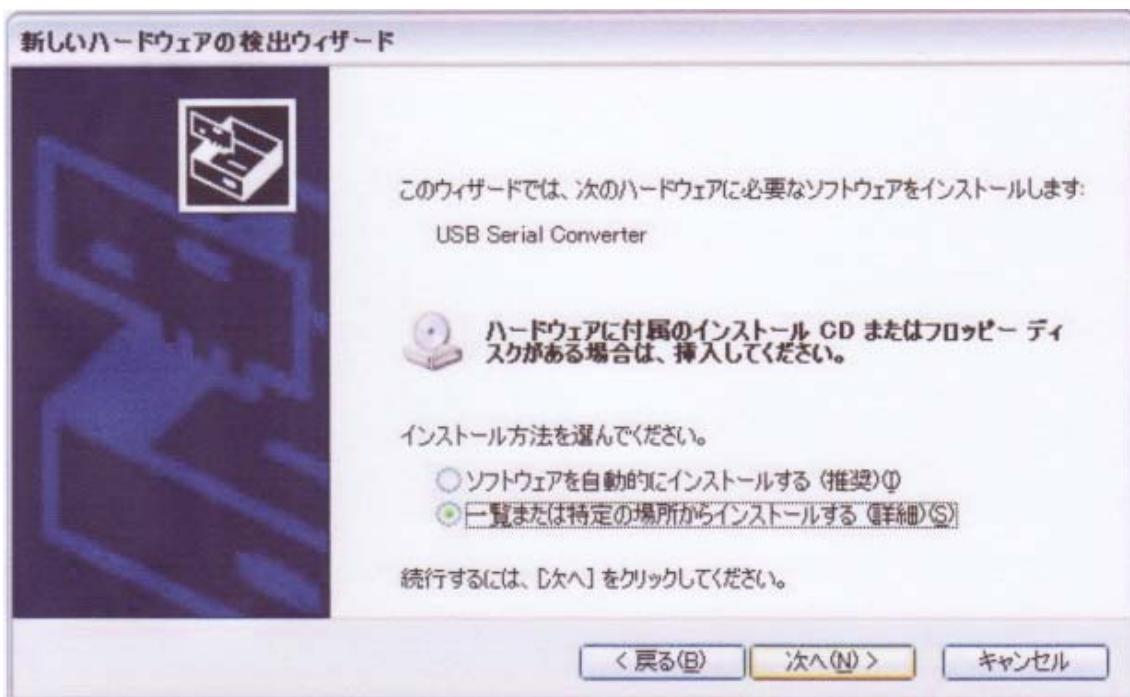
パソコンのUSBコネクタと本体の「設定・PC」のコネクタをUSBケーブルで接続して下さい。

下記の画面が表示されたときは、「いいえ、今回は接続しません。」を選択し、「次へ」をクリックします。



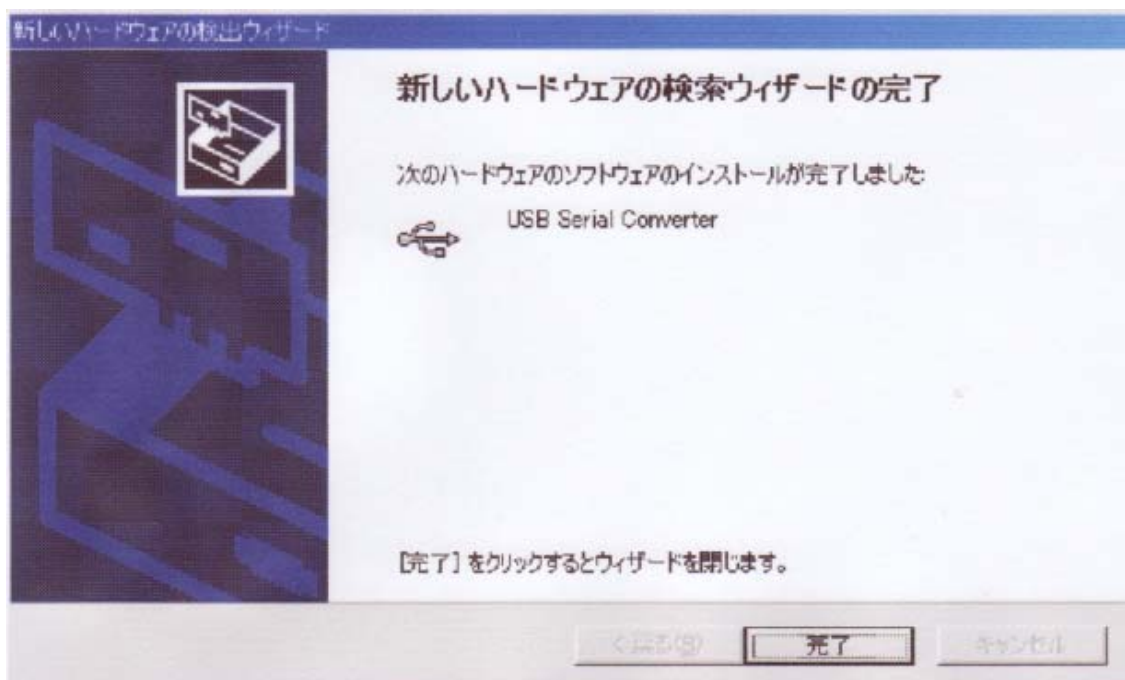
パソコンに下記の画面が表示されます。(既に該当するドライバがインストール済みの場合はこの画面は表示されません。また、インストールの必要はありません)

このインストールは、画面にあるように「USB Serial Converter」のソフトウェアに関するものです。



ここで使用するパソコンがインタ - ネットに接続されている場合は、インストール方法「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択してから、「次へ」のボタンを押します。(上の図ではこの選択が違います)

数分経過すると、下記の画面が表示されます。



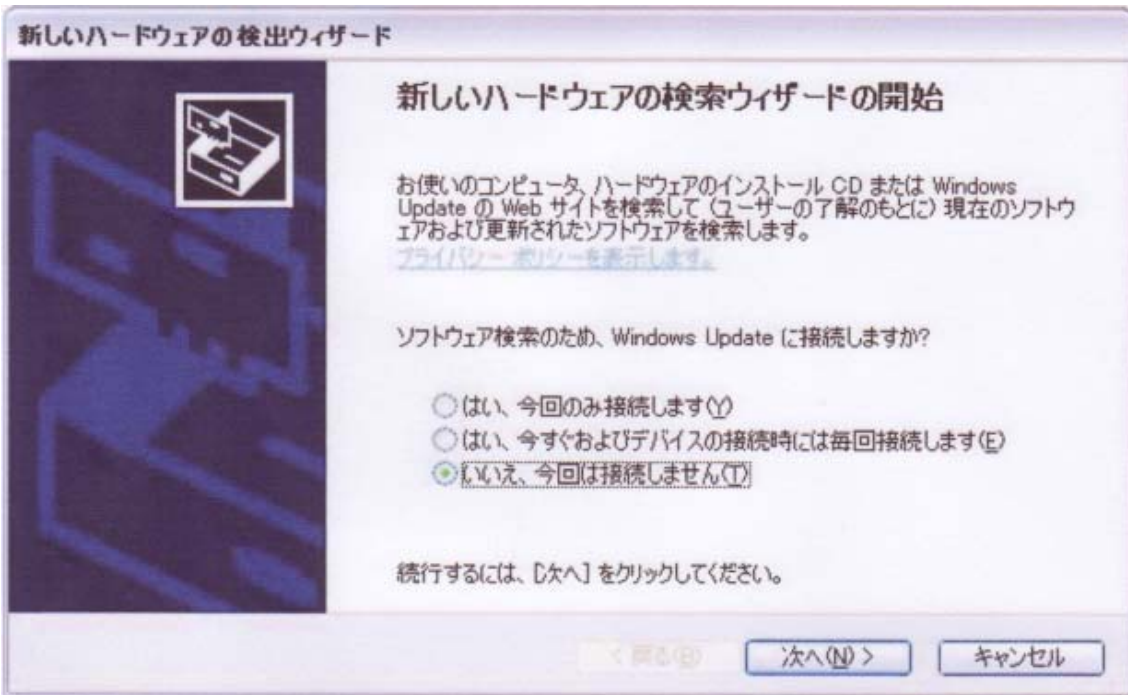
ここで、「完了」ボタンをクリックすると、これまでの画面と同じようなインストールが再度始まります。前回は、「FT232R USB UART」のソフトウェアに関するものでしたが、2回目は「USB Serial Port」に関するものです。ここで勘違いして、キャンセルしてはいけません。上記と同様に選択してください。2回目も正常に終了すれば、インストールは終わりです。

### 上記の方法でインストール出来ないとき

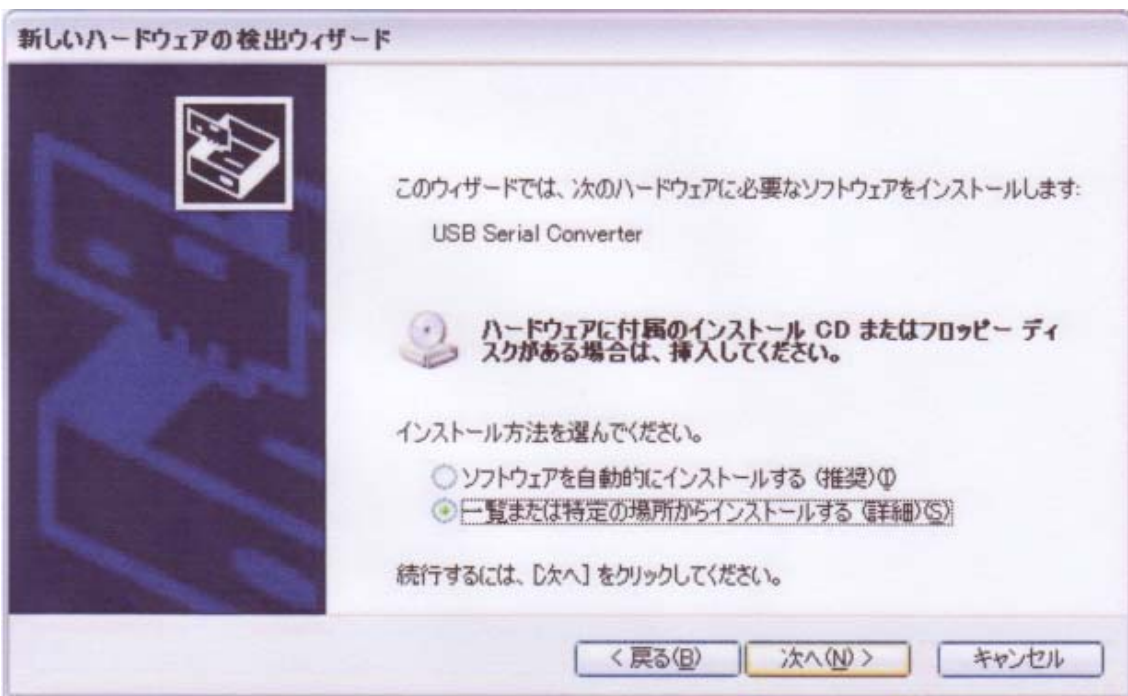
セットアップソフト内の「CDM.2.04.14」フォルダをフォルダごと、マイコンピュ - タ・Cドライブ内の「TMP」フォルダの中にコピー - します。

これでドライバをインストールする準備は完了です。

パソコンのUSBコネクタと本体の「設定・PC」のコネクタをUSBケーブルで接続して下さい。  
接続したとき、この画面が表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。



このインストールは、画面にあるように「USB Serial Converter」のソフトウェアに関するものです。  
「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、「次へ」をクリックして下さい。



次の画面が表示されます。参照ボタンを押して、[C:¥TMP¥CDM 2.04.14]を選択して下さい。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード

検索とインストールのオプションを選んでください。



次の場所で最適なドライバを検索する(S)

下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適なドライバがインストールされます。

リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索(M)

次の場所を含める(O):

C:\TMP

参照(R)

検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)

一覧からドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適なものとは限りません。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

選択するとこのようになります。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード

検索とインストールのオプションを選んでください。



次の場所で最適なドライバを検索する(S)

下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適なドライバがインストールされます。

リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索(M)

次の場所を含める(O):

C:\TMP\CDM 2.04.14

参照(R)

検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)

一覧からドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適なものとは限りません。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

次へをクリックすると、次の画面に変わります。



しばらく待つと、完了画面が表示されます。完了をクリックして下さい。



完了をクリックすると、もう一度同じようなインストール画面が表示されます。前回は「USB Serial Converter」のソフトウェアに関するものですが、下記は「USB Serial Port」に関するものです。ここで勘違いして、キャンセルしてはいけません。「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

## 新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします。

USB Serial Port



ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディスクがある場合は、挿入してください。

インストール方法を選んでください。

- ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (A)
- 一覧または特定の場所からインストールする (詳細) (S)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

< 戻る (B)

次へ (N) >

キャンセル

クリックすると以下の画面が表示されますので、前回と同様に設定して、次へをクリックして下さい。

検索とインストールのオプションを選んでください。



- 次の場所で最適のドライバを検索する (S)

下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適のドライバがインストールされます。

- リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索 (M)
- 次の場所を含める (Q):

C:\TMP\CDM 2.04.14

参照 (R)

- 検索しないで、インストールするドライバを選択する (D)

一覧からドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適のものとは限りません。

< 戻る (B)

次へ (N) >

キャンセル

自動的にインストールが始まります。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード

検索しています。お待ちください...



USB Serial Port



< 戻る(B)

次へ(H) >

キャンセル

しばらく待つと完了画面が表示されます。完了ボタンを押して下さい。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード



### 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了

次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました:



USB Serial Port

[完了] をクリックするとウィザードを閉じます。

< 戻る(B)

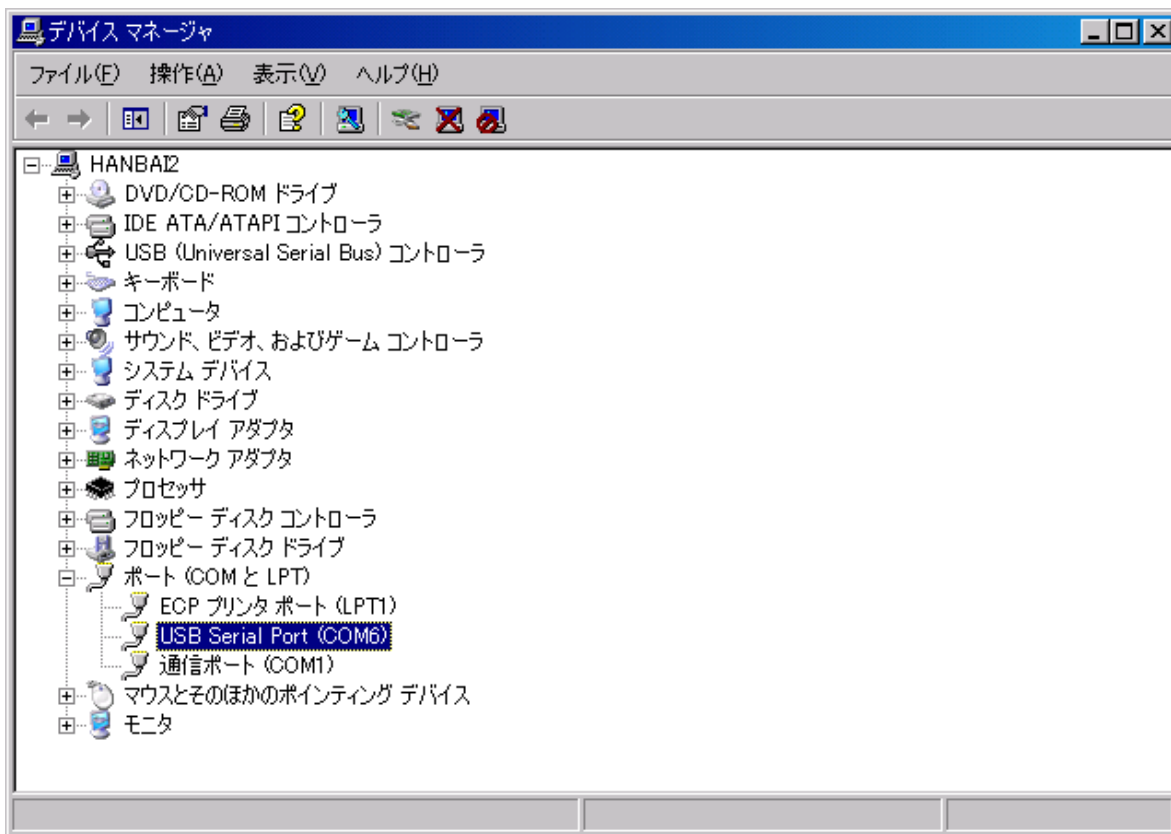
完了

キャンセル

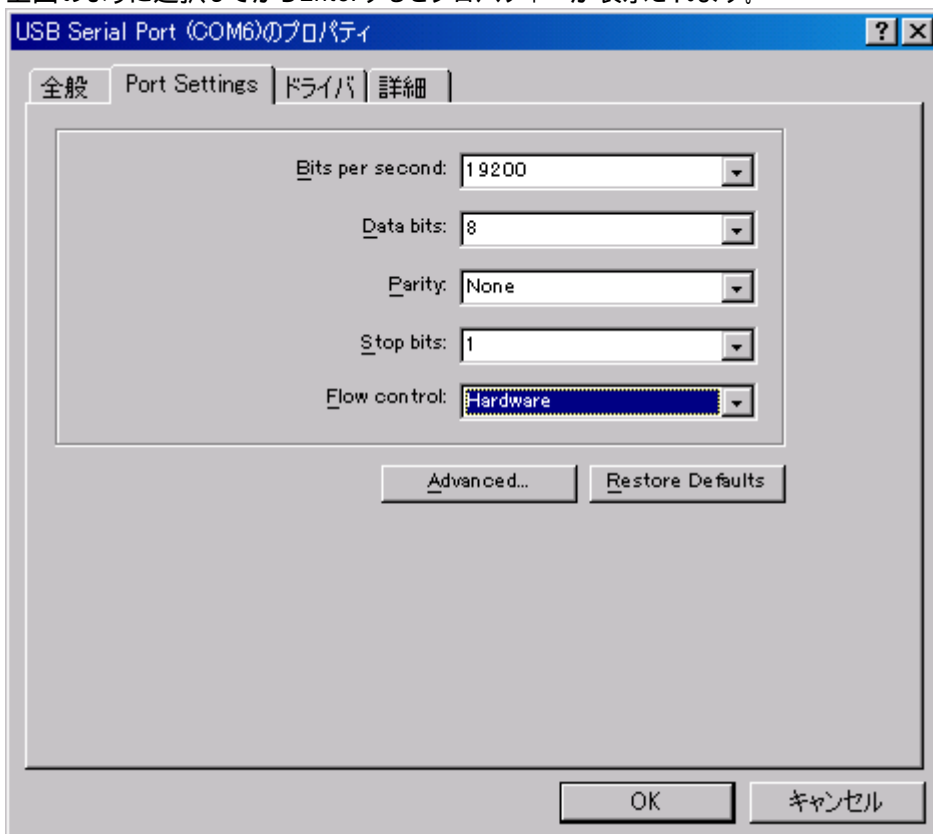
これでUSBドライバのインストールは終わりました。

### COMポート番号を確認します。

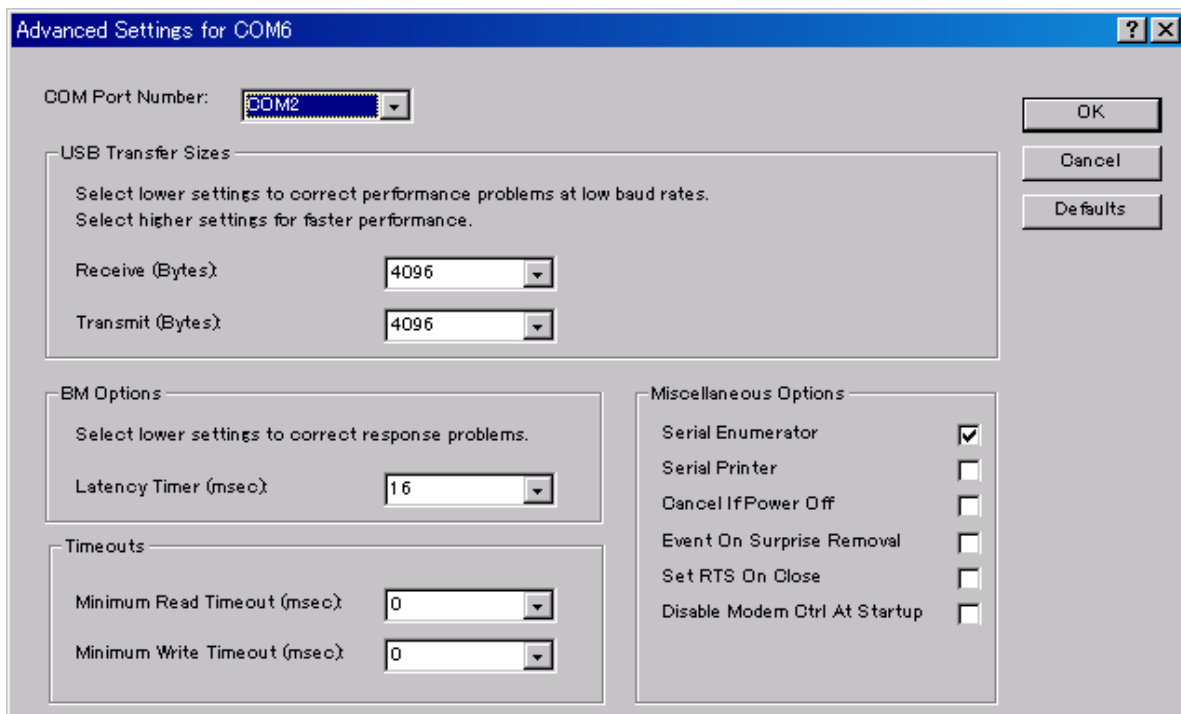
下記のように、コントロールパネル システム デバイスマネージャで、USB Serial Port(COM\*)が表示されているか確認してください。下記の画面ではポート番号が、COM6になっています。弊社の通報装置では、COM1からCOM9までサポートしています。ここでもし、ポート番号が、COM9以上になっていたときは、下記の説明を見ながらCOMポート番号を変更しておいて下さい。COMポート範囲に問題がなければこれで通信ポートの確認はすべて終了です。



上図のように選択してからEnterするとプロパティが表示されます。



ポート番号の変更は、「Port Setting」の「Advanced Setting」をクリックしてください。



「COM Port Number」でCOMポート番号を設定し、「OK」を何度かクリックしてすべての画面を閉じます。  
ポートの変更結果を確認するには、デバイスマネージャーを一旦閉じてから再度表示させて確認して下さい。

以上で、すべて完了です。  
お疲れ様でした。